

第 3 次 出雲市ごみ処理基本計画(案)について

1 パブリックコメントについて

市民からのコメントはありませんでした。

実施期間 令和 4 年 12 月 23 日～令和 5 年 1 月 23 日

2 修正箇所

第 3 回環境審議会からの変更点は、以下のとおりです。

なお、語句や表現の統一、誤字・脱字・体裁など軽微な修正は割愛しています。

頁	修正等の個所	修正等の内容	理由等
2	第 1 章 2.計画期間	令和 8 年度を中間年度 →令和 9 年度を中間年度	環境総合計画に合わせるため
6	第 2 章 1.ごみ排出量の推移	図 10 品目別資源化量の推移を追加	民間回収量の内訳明示のため
7	第 2 章 1.ごみ排出量の推移	最終(埋立)処分量の増加原因について記載 ★修正 1	未記載であったため
11	第 3 章 2.基本方針	関係する持続可能な開発目標(SDGs) 4 項目追加	環境総合計画に合わせるため
15	第 3 章 4.施策体系	表 2 施策体系の 3 番目から 15 番目の順序を入れ替えた	重要な項目順に見直した
23	第 4 章 食品ロス削減推進計画	食品ロス削減推進計画をごみ処理基本計画と統合した	当初、別計画としていたが本計画に組み込んだ
25 26	第 4 章 6.目標達成に向けた施策	施策の順序等を変更した ★修正 2	重要な項目順に見直した
46	資料編 2.ごみ処理の実態と分析	表 22 中間処理過程における資源回収実績 表中の数値修正 ★修正 3	集計ミスによる修正

とについて普及啓発を行う。

「フードバンク事業」は、事業者を対象に食品を回収すること

「フードドライブ事業」は、イベント等で市民から食品を回収すること

施策5 エコレシピの普及啓発

情報媒体を活用して、ごみ減量化に関する情報に加えてエコレシピについても紹介する。また、市内で開催されている料理教室でエコレシピを取り扱うように呼びかける。

施策6 イベントを活用した食品ロス削減のPR

市内で行われるイベントにおいて、主催者等に対して、食品ロス削減を意識した調理や料理の提供について働きかける。また、参加者へ家庭でできる食品ロス削減についてPRする。

施策7 てまえどりの普及啓発

購入してすぐ食べる場合には、商品棚の手前にある商品、販売期限の迫った商品を優先的に選ぶことを普及啓発する。

施策8 ローリングストックの普及啓発

ローリングストックの実践について普及啓発する。

「ローリングストック」とは、普段から少し多めに食材を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておくことである。普段食べている食品を期限内に食べることができ、災害時には備蓄食料として活用できるメリットがある。

施策9 ごみ組成調査による食品ロス発生状況の把握

ごみ組成調査を定期的実施し、本市における食品ロス発生状況を把握する。また、本市の食品ロス発生量を正確に推計する。



てまえどりの啓発資料



ローリングストックの啓発資料

修正 3

表 22 中間処理過程における資源回収実績（令和 3 年度）

項目	資源回収の対象	資源化量 (t)	資源化割合 (ごみ種類に対する)
可燃ごみ 47,927 t	紙	32	0.07%
	剪定枝等	1,454	3.03%
	鉄	96	0.20%
	アルミ	43	0.09%
	小計	1,625	3.39%
破砕ごみ 7,678 t	鉄	1,106	14.40%
	非鉄	109	1.42%
	蛍光管	5	0.07%
	乾電池	50	0.65%
	小計	1,270	16.54%
資源ごみ 2,604 t	飲料用空き缶	2	0.08%
	空きびん	317	12.17%
	ペットボトル	131	5.03%
	古紙	1,132	43.47%
	廃食用油	16	0.61%
	割りばし	0	0.00%
	古布	55	2.11%
	木くず	690	26.50%
小計	2,343	89.97%	
合計		5,238	—

※空き缶は、回収量が約 40t/年であるが、搬入された施設によって、鉄もしくは非鉄に含まれてしまうものがある。そのため、中間処理後の空き缶単独の資源化量は、2 t/年となってしまう（残り約 38t/年は、鉄もしくは非鉄に含まれる）。

※各項目を整数に端数処理しているため、p71 以降の集計表と数値が合わない箇所がある。